

アクリルアミドの分析

アクリルアミドは産業界において、ポリアクリルアミドの原料などに使用されています。本物質は、劇物に指定されており、作業環境における管理濃度は0.1mg/m³です。

また、水道施設の技術的基準に定める省令（厚生労働省）により、浄水又は浄水処理過程における水に注入される薬品等により水に付加される物質としてアクリルアミドモノマーが評価項目にあげられ、評価基準値0.00005mg/Lと設定されています。

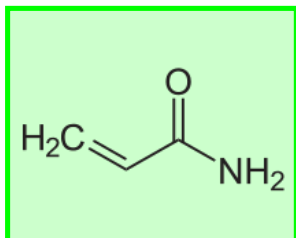
海外においては飲料水の水質基準として、下記の指針値、基準値が設定されています。

- ・ WHOの飲料水水質ガイドライン：0.5µg/L
- ・ US.EPA：0.5µg/L
- ・ 欧州連合（EU）：0.1µg/L

弊社では分析は、作業環境測定に関しては溶媒抽出-GC/MS法、浄水等の水質試料はアクリルアミドを誘導体化後、GC/MSで分析しています。

アクリルアミドの分析は是非、日鉄テクノロジー(株)広畑事業所におまかせください。

アクリルアミドの物性



CAS. No	分子量	沸点 (°C)	融点 (°C)	溶解度 (mg/L)
79-06-1	71.08	192.6	84.5	3.9 × 10 ⁵

【用途】
紙力増強剤、繊維加工、沈殿物凝集剤、土地改良剤、接着剤、塗料

水質試料の測定事例 / 分析フロー

